

2023年6月8日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：世界経済の落ち込みはより緩やかなものに

6月7日、OECD(経済協力開発機構)は5月分のCLI(景気先行指数、Composite leading indicator)を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は6~9か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均(≒中立水準)を100としている。すなわち、100以上は景気拡大、100以下は景気縮小局面を意味する。OECDによれば、G20のCLIは+0.05%上昇した(図表1、2)。22年11月まで17か月連続で低下したのち、6か月上昇を続けている。他方、G7(▲0.01%)は2か月連続で低下。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、南米では切り返しが見て取れる(図表1、3)。ブラジル(+0.05%)は2か月連続で、メキシコ(+0.04%)は7か月連続でそれぞれ上昇。他方、カナダ(▲0.08%)は22か月連続で、米国(▲0.05%)は23か月連続でそれぞれ低下した。

欧州圏は、長期平均割れは継続も、総じて上向きつつある(図表1、4)。英国(+0.16%)は8か月連続で、イタリア(+0.05%)は7か月連続で、ドイツ(+0.04%)は7か月連続でそれぞれ上昇。また、スペインはほぼ横ばい推移だった。一方、フランス(▲0.14%)は19か月連続で低下した。

アジア・オセアニアは、中国の切り返しが目立つ(図表1、5)。中国(+0.21%)は9か月連続で、日本(+0.07%)は4か月連続で上昇。また、インドネシア(+0.07%)は3か月連続で、オーストリア(+0.03%)は24か月ぶりに上昇した。他方、インド(▲0.10%)は19か月連続で低下した。

中東・アフリカはまちまちの結果となった(図表1、6)。トルコ(+0.23%)は7か月連続で上昇した一方で、南アフリカ(▲0.14%)は15か月連続で低下した。

G20のCLIは、上述の通り6か月連続で上昇を見せており、すでに底入れをした可能性が高い。22年3月以来となる長期平均超えも目前に迫っている。足許では主要国中銀による利上げが思ったより長引いている印象もあるものの、供給政策の一層の改善や商品価格の続落が景気見通しの下支えをしているのだろう。米経済が従前からの予測よりも底堅いことも、指数を押し上げているものと推察される。一方で、PMIの推移を確認する限りにおいては、各国ともに景況感改善はサービス業に留まっている可能性が高く、製造業分野の需要回復にはまだ距離がある印象だ。また、一部の国においては特にサービス業分野において価格上昇圧力の粘性性が懸念される状況にある。加えて、過去の通貨ニュースで度々指摘している通り、中国経済の回復は早くも腰折れが指摘される状況にある。引き続き、世界の景気サイクルとしては、主要国中銀の利上げ停止時期やその後の利下げ開始時期に加え、中国経済の回復ペースを睨みながらの推移となる可能性が高い。

市場営業部
長谷川 久悟

03-3242-7065

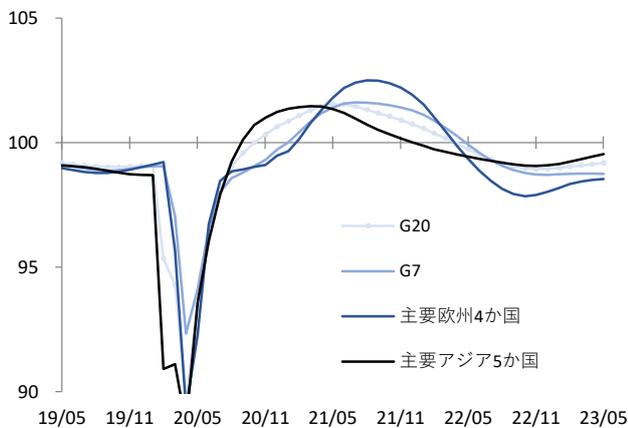
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

OECD景気先行指数	(長期平均=100)								
	22年10月	22年11月	22年12月	23年01月	23年02月	23年03月	23年04月	23年05月	前月比(%)
G20	99.0	98.9	98.9	99.0	99.0	99.1	99.1	99.2	0.05
G7	98.8	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	▲ 0.01
主要欧州4か国	97.8	97.9	98.0	98.2	98.3	98.4	98.5	98.5	0.03
主要アジア5か国	99.1	99.1	99.1	99.1	99.2	99.3	99.4	99.5	0.11
米国	99.1	99.0	98.9	98.9	98.8	98.8	98.7	98.7	▲ 0.05
カナダ	98.2	97.9	97.7	97.5	97.4	97.2	97.1	97.1	▲ 0.08
ブラジル	99.8	99.6	99.4	99.2	99.1	99.1	99.1	99.2	0.05
メキシコ	99.8	99.8	100.0	100.1	100.1	100.2	100.2	100.2	0.04
ドイツ	98.6	98.7	98.8	99.0	99.3	99.4	99.5	99.6	0.04
フランス	98.8	98.7	98.6	98.4	98.3	98.2	98.1	97.9	▲ 0.15
イタリア	97.3	97.4	97.6	97.9	98.1	98.3	98.4	98.4	0.05
スペイン	98.4	98.6	98.8	98.9	99.1	99.2	99.2	99.2	0.00
英国	96.1	96.3	96.5	96.8	97.1	97.3	97.5	97.6	0.17
日本	100.1	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	100.2	0.07
オーストラリア	99.2	99.0	98.9	98.8	98.7	98.6	98.6	98.6	0.03
中国	98.6	98.7	98.9	99.1	99.3	99.6	99.8	100.0	0.21
韓国	99.3	99.0	98.7	98.5	98.3	98.3	98.2	98.2	▲ 0.00
インド	99.7	99.6	99.4	99.3	99.1	99.0	98.9	98.8	▲ 0.10
インドネシア	98.2	97.9	97.7	97.6	97.5	97.5	97.6	97.7	0.07
南アフリカ	100.5	100.5	100.4	100.3	100.2	100.1	99.9	99.8	▲ 0.14
トルコ	99.3	99.4	99.5	99.7	99.9	100.1	100.4	100.6	0.23

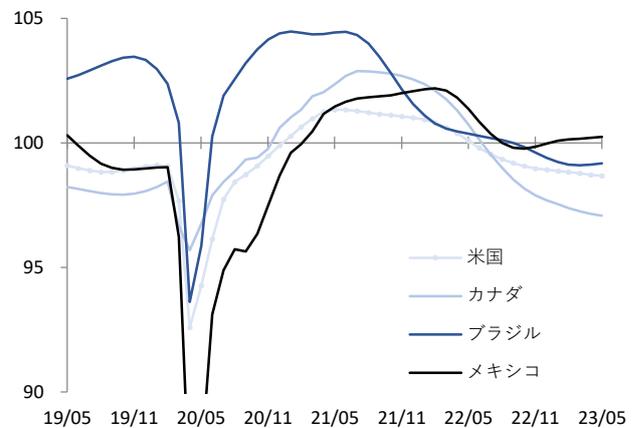
資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
 ※それぞれ四捨五入で記載している
 ※主要欧州4か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国
 ※主要アジア5か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

図表 2: G20、G7、主要欧州4か国、主要アジア5か国



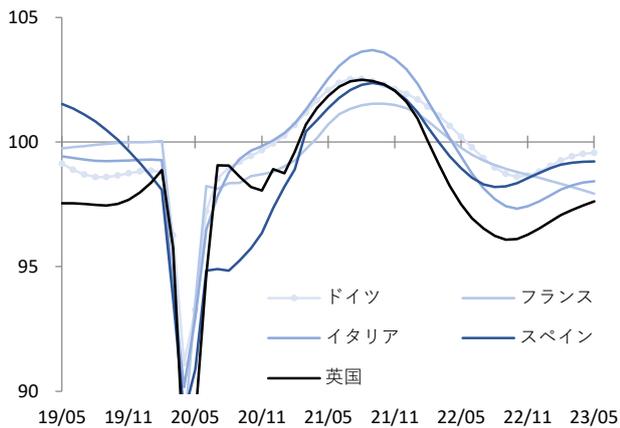
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行
 ※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3: アメリカ大陸



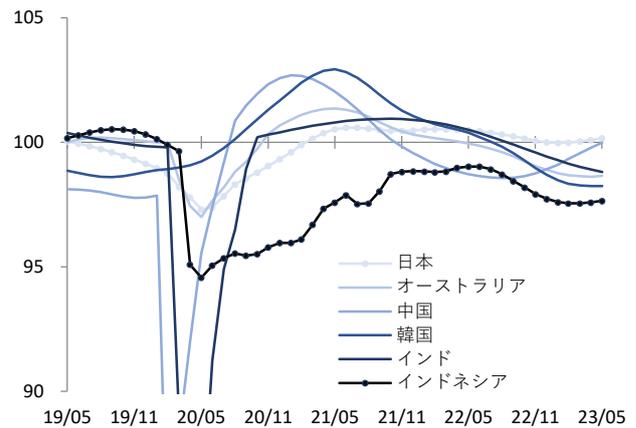
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏



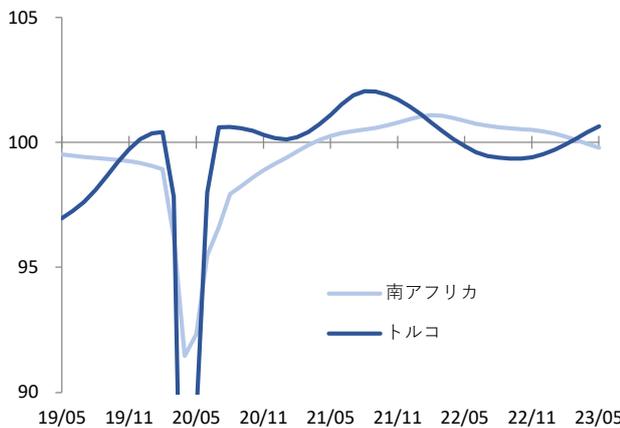
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。